

格安通話サービス 最安はLINE電話、音質はサービスにより異なる

基本料金0円で通話料を従来の半額以下にできるのが格安通話サービスだ。安いのは「LINE電話」。最安プランの場合、固定電話宛てが1分2円、携帯電話宛ても1分6.5円で使える。ただ、IP網を経由するため「楽天でんわ」や「G-Call」などと比べると音質面で見劣りすることもある。通話相手によってサービスを使い分けるといいだろう。

■楽天でんわやG-CallはIP網を経由しない



■通話料金を半額以下にできる格安通話サービス

	LINE電話	楽天でんわ	G-Call
基本料金	無料	無料	無料
通話料	固定電話宛て 2円/分(30日プラン 固定) 3円相当/分(コールクレジット)	10円/30秒	10円/30秒
	携帯電話宛て 6.5円/分(30日プラン 固定+携帯) 14円相当/分(コールクレジット)		
付与番号	なし	0037-68	0063
使用回線網	非公開	フュージョン・コミュニケーションズ	ソフトバンクテレコム
IP網経由	する	しない	しない
国際電話	○	○	○
料金の支払い方法	クレジットカード、電子マネー、ウェブサイトでプリペイド	クレジットカード、一部のデビットカード	クレジットカード
発信番号通知	固定電話宛て △ 回線、端末により非通知になる場合がある	○	△ 回線、端末により非通知になる場合がある
	携帯電話宛て △ NTTドコモへは「番号非通知」。キャリアや端末により表示が異なる	○	○
専用アプリ	対応OS △ 안드로이드	iOS、アンドロイド	iOS、アンドロイド
	着信履歴の表示 X 안드로이드 専用アプリには、発信履歴のみが蓄積。着信へ折り返すには自分で番号を入力する必要がある	○ 안드로이드 X iPhone アンドロイドでは着信履歴を表示できる。iPhoneではアプリの発信履歴のみ表示可能	○ 안드로이드 X iPhone アンドロイドでは着信履歴を表示できる。iPhoneではアプリの発信履歴のみ表示可能
	標準の電話機利用 ○	○	○
	「無料通話」が可能な相手などへ発信する場合の機能 X 登録相手をタップすると、そのままLINE電話で発信。無料通話リストなどの機能はない	○ 同キャリアなど無料で通話できる相手には通常発信する無料通話リストの作成が可能	○ 発信時に「G-Callで発信」と「通常発信」を選べる
備考	通話料は非課税。14年4月中旬時点ではiPhoneは未対応。料金はプリペイドでチャージしておく必要がある	国内通話は課税される。通話料100円につき、楽天スーパーポイントが1ポイントたまる。ポイント付与は利用月の約2カ月後	通話料は非課税。支払いはクレジットカードにのみ対応。「30秒10円」の通話料金はキャンペーン料金だが今後も継続予定

固定回線とのセット割や通話半額オプションを利用する方法だ。

「auひかり」などのセット割「スマートバリュー」は、auスマホの強みの一つ。適用すればスマホ1台当たり最大で1410円が割り引かれる(42ページ)。スマホやタブレット10回線までに適用できるので、家族や利用機器が多いほど得だ。

一方、「通話ワイド24」は、他社宛でも通話料金が従来の半額である30秒10円になるオプション。月額93円かかるサービスだが、電話をよく使うauユーザーは通話料金を半額にできる。

通話料を半額以下にする方法

auの通話ワイド24は、前述したように定額料金がかかるオプションサービスだが、ここ最近、急速に市場が拡大しているのが、どのキャリアのユーザーでも、基本料金0円で通話料が従来の半額である「30秒10円」以下になる格安通話サービスだ。

LINEが2月に発表した「LINE電話」は、国内の携帯電話宛てなら最安で1分6.5円、固定電話宛てなら同2円という破格の通話料で大きな話題になった。昨年12月にサービスがスタートした楽天の「楽天でんわ」や「G-Call」(ジーエービー)は30秒10円だ。どれも、これまで主流だった一般的なIP電話とは異なり、「050」などの特別な電話番号は不要。基本的には自分のスマホの電話番号が相手に通知されるため、通常の電話のように使えるのが特徴だ。

では、これらの格安通話サービスは